



すすめ!たかわん

発行日 : 2013年9月10日
発行番号 : 14
発行者 : NPO法人みたか都市観光協会
お問合せ : 0422-40-5525
URL : http://taka-1.mall.mitaka.ne.jp/

株式会社まちづくり三鷹 Poki ストラップ

Pokiとは？

～株式会社まちづくり三鷹さんの羽石さんに聞く～

『Poki (ポキ)』は、平成13年に「三鷹の森ジブリ美術館」(三鷹市立アニメーション美術館)が設立したのを記念して誕生しました。館主であるスタジオジブリの宮崎駿さんが「鷹の子」をモチーフにデザインし、公募によって市民が名付け親となって製作されたキャラクターです。また、Pokiは平成22年に三鷹市市制施行60周年を記念して、三鷹市の魅力を幅広く発信・PRする「PR大使」となりました。

Pokiは、三鷹の森に生息している鷹の子で、「ポキポキ」と小枝を折るような鳴き声の特徴です。知っていましたか？みなさんが「ポキポキ」と鳴いたら、Pokiから返事がくるかも・・・？

Poki ストラップ製作秘話

実はもともとPokiのキーホルダーがありましたが、もっとたくさんの人にPokiを身近に感じてもらえるには、どうしたらいいのかと商品開発担当の羽石さんは考えました。そこで携帯電話やバッグに付けることができ、さらにストラップ部分を取り外せば様々な使い方ができるということで「Poki ストラップ」が誕生しました。

しかし、このPoki ストラップの完成までにはたくさんの苦労があったようです。Pokiの顔を部分を立体的にするのが難しく、鷹の子のかわいらしいふわふわとしたやわらかいイメージを出すのが大変だったとのこと。樹脂製のストラップも試作してみましたが、Pokiのかわいい雰囲気が出ないため、フェルト素材に決めました、と羽石さん。

樹脂製のPokiはどんな感じだったのか気になりますね。苦労の未完成したPoki ストラップは、みなさんを笑顔にしてくれる素敵な商品となっていますよ！



Poki ストラップ
色はカラー・モノクロ
各450円(税込)

© 2001 スタジオジブリ

TAKA-1 に選ばれて 変わったことはなんですか？

今までは限られた場所でしか販売ができなかったのですが、TAKA-1に認定されたことで幅広くいろんなイベントでPokiを紹介する機会が増えました。今までと違い、幅広いお客様にPokiを知っていただける機会も増えたと羽石さんは喜んでいました。

どこよりも早い嬉しい情報！！

なんと、(株)まちづくり三鷹では現在Pokiの新商品の製作が進められているそうです。これは「すすめ!たかわん」だけの最新情報ですよ！

気になるその新商品とは、ずばり、「Pokiのピンバッジ」です！帽子につけたり、ブレザーにつけたり、自分の好きなところにつけられるピンバッジをより多くの方に手に取っていただいてPokiを広めたいと羽石さんが語ってくれました。10月上旬からみたか観光案内所でも販売します。1個500円(税込)です。

他にもぬいぐるみや、市内事業者の方が商品開発したマグカップやミニタオルなど、Pokiグッズがいろいろあります。みなさんもぜひPokiと一緒に生活を過ごしてみてください！

まちづくり三鷹さんでは どんなことをしているの？

(株)まちづくり三鷹は、三鷹市の第三セクターとして、平成11年9月に創立されました。三鷹市の歴史、文化、自然など豊かな地域の財産に着目して、市民向けの各イベントなどを通じてまちづくりを進め、産業の活性化や、市民の生活を豊かにするための仕事をしています。

その一つに地域の人たちのまちづくり活動支援があります。一例としては、小学校のそばの狭くて交通量の多い道路を改善して、子どもたちが安全に暮らせるようにしたいという住民の方の活動を支援し、実際に道路の整備を実現するなど、地域の人たちと一緒に活動しています。市民と関連団体による会議には三鷹市も参加し、協議を重ねて、それを実現させるパワーや積極性が、他の市にはない三鷹市の財産と言えます。

(株)まちづくり三鷹は、ほかにもまだまだたくさんの方の事業を行っていますが、ここには書ききれないのでこの辺で。

「三鷹市は市民一人ひとりの意識が高く、市政へ積極的に参加する人が多いので、私たちもそれに負けないように支援していきます」と(株)まちづくり三鷹の羽石さんが笑顔で語ってくれました。



© 2001 スタジオジブリ

TAKA-1(タカワン)は、市内の魅力的な商品をTAKA-1として認定することで、多くの人たちにその良さを知ってもらい、三鷹市を代表するブランドとして育てていこう！そんな思いで始めた事業です。NPO法人みたか都市観光協会、(株)まちづくり三鷹、三鷹商工会をはじめ、市内の様々な団体が協力して実施しています。

現在「おみやげ部門」として、19商品が認定されています。

この情報紙「すすめ!たかわん」では、毎回1つずつ、認定品の魅力や、作っている方々の熱い思いを、みなさんにお伝えしてまいります。

「三鷹コミュニティシネマ映画祭」の活動について

(株)まちづくり三鷹では、市民の有志の方と協働で手作りの映画祭を企画・開催しています。羽石さんは「市民の方がまちづくりの取り組みに受け身ではなく自分から参加して進めていくことで、三鷹に住んでよかったなど、三鷹を自慢したくなるようになってほしい。」と語っていました。

映画祭では、次の3つを柱にして活動をしています。1つ目は「文化庁の優秀映画鑑賞推進事業」。昔の日本映画をみんなに見てもらいたいという思いからこの事業に参加しています。2つ目は「三鷹の映画人」。三鷹にゆかりのある方々の作品を集めて上映しています。3つ目は「三鷹オスカー1日だけ復活!!」。昔、三鷹駅前にあった「三鷹オスカー」という名画座で、当時番組編成を担当していた方にも協力いただき作品選びをしている上映会です。いずれも個性的なラインナップになっています。

みなさま必見！

「三鷹コミュニティシネマ映画祭」は、毎年秋に三鷹産業プラザ7階で開催されています。35mmフィルム独特の雰囲気や、ここ、三鷹で味わうことができたら、映写技師のスタッフを中心に市民有志のスタッフが35mm映写機の技術を学び、企画から上映まで全てスタッフで行なうことができるよう、研鑽を積んでいます。

また、映画祭ではボランティアを募集しているので、映画が好きな方、映写の技術を学びたい方など、興味のある方はぜひ参加してみてください！



(株)まちづくり三鷹での事業の数は100個以上もあったと聞いて驚きました。多くの人の手助け

をして、背中を押してくれているんですね。Pokiもみんなに知ってもらえるようにどんどん羽ばたいて行って、さらに人気者になれるといいね!(わんこ)